



子どもが「本が好き！」になるようなサポートとは

那須連峰に沈む夕日が一番美しい季節となりました。これは、季節が冬に近づくにつれて大気(空気が乾燥し、光や遠くの景色を妨げる水分が少なくなるため、今の時期の夕日が一番美しく見えるのだそうです。

さて、古代中国の文人韓愈(かんゆ)が残した詩の中に「灯火親しむべし」という一説があります。「日の短くなった秋は、部屋で明かりをつけて本を読みふけるのに適している」という意味です。秋は、読書に一番適した季節であるということを表したこの言葉が「読書の秋」の由来だと言われています。脳の活動にとっても秋の気温は最適なので読書に没頭しやすい時期なのですね。秋の夜長にお子さんと一緒に読書をしてみてはどうでしょう。

読書の話をするとう保護者の方から「うちの子、どうしたら本を読むようになるのでしょうか」と嘆きの声が聞こえてきそうです。リビングに本を置いておいたり、おうちの方々が本を読む姿を見せたりすることはその一手なのですが、現実的になかなかそうもいかないでしょう。

読書研究の第一人者である東京大学大学院の秋田喜代美教授らの研究では「家に本がたくさんある子どもは本を読むようになるものの、必ずしもそれだけでは本が好きになるとは限らない」という調査結果が出たそうです。

子どもを本好きにするには何がいいのかというと、秋田氏は「子ども自ら本を選ぶ機会を増やすことが大切である」と述べています。親子で図書館や書店に行ったり、本のイベントに参加したりと、機会が多いほど、「本が好き」になる機会が増えるというわけです。

親子で図書館を活用してみよう。

図書館にはいろいろな本があるのはもちろんですが、行けば同年代の子どもが読書している姿に刺激を受けるでしょう。(略)読み聞かせや読書会などのイベントに参加してみたり、親が子どもころ好きだった本を見つけて「面白い」と薦めたりすることもできるのです。そうしてお子さんが興味を示す1冊が見つかったら、一歩前進。最初の数ページだけ“味見読書”をしてみて、読みたくなったものを借りてみたらいいと思います。

※子どもが読書好きになるヒントBOOK、秋田喜代美教授の話より・朝の読書推進協議会 ベネッセ

秋田氏は、その際に親が心がけることとして「読みなさいと言わないこと」「大切なのは自ら選ぶこと。読み切ったことも自信につながって、次への一冊へと手を伸ばしていくはず。」と述べています。

国立青少年教育振興機構が大人を対象にした調査では、幼児期から中学生までの読書量が多い人ほど、前向きで、充実した日々を送っているという結果が出ています。また、「自分のことが好き」「何でも最後までやり遂げたい」といった意識が、読書活動が少ない人に比べて20ポイント以上も高い傾向にあります。



朝の10分間の読書 3年3組

小学校時代に「好き」と思える本に出合ったかどうか、その後も本に親しみ続けることができるかどうかの分岐点になります。是非、ご家庭でも、子どもが「本が好き！」になるようにサポートしてあげてください。

ぼくら二小あそび隊 「群れ遊び」で子どもを育てる！

本校では「群れ遊び」を重視しています。身体を使った「群れ遊び」を通して友達とのコミュニケーションを学び、運動する喜びを経験し、心まで育てたいと考えています。そこで、東日本大震災後に途絶えていた「ぼくら二小の遊び隊」を一昨年度から復活させました。今年で3年目になります。

10月28日（金）に391名の全児童が32班の縦割り班（1年生から6年生を一緒にすること）に分かれて、翠ヶ丘公園で約2時間楽しく遊びました。6年生のリーダーシップが光りました。

※「群れ遊び」とは、年齢の違う子どもたちが自由空間で自由に遊ぶことです。

楽しかった二小遊びたい

3年1組 鈴木芽生

わたしは、二小あそび隊で一番楽しかったことは、ドロケイです。どうしてかという、わたしはドロケイが好きだったからです。お兄さんお姉さんがおそく走ってくれたのですごくうれしかったです。つかまらなくても、つかまっても、みんなやさしくしてくれたのですごくうれしかったです。

4年生になっても二小遊びたいが楽しみです。

二小遊び隊 6年2組 行方和香

去年までは、楽しく遊べたけど、今年は去年とちがって、下の学年を楽しませる役でした。最初、班長や副班長として、班のみんなに指示が出せるか心配でした、でも、本番では、班のみんなを楽しませたり、きちんと仕切れたりできたのでうれしかったです。おにごっこをしている時でした。みんな楽しそうに笑ってやっていたので、成功したことを実感できました。最後の二小遊び隊で、自分の役割をきちんと果たせたのでよかったです。



校内持久走記録会 子どもたちは皆がんばりました！

9日（水）・10日（木）・11（金）に持久走記録会を行いました。体育の授業、休み時間（ランランタイム）に一人ひとりが一生懸命に練習に取り組み、これまでの練習してきた成果を発揮して走ることが出来ました。走り終えた後の子ども達の表情は、とても晴れ晴れとして満足していました。保護者の皆様の励ましと拍手が力となりました。ありがとうございました。結果は次号で掲載します。

※当日の様子をホームページで詳しく掲載しております。ご覧ください。



3年生男子持久走記録会



4年生女子持久走記録会

サッカーチーム「北星FC」が大活躍

二小生で組織するサッカーチーム「北星FC」チームは、10月29日のJA夢みなみあぶくま石川地区のサッカー大会で見事優勝。面川虎太郎君（北星FCA）6年が最優秀選手賞、大石和輝君（北星FCB）5年が優秀選手賞に選ばれました。また、11月3日の市民体育祭では、北星FCミランチームが準優勝をはたしました。

